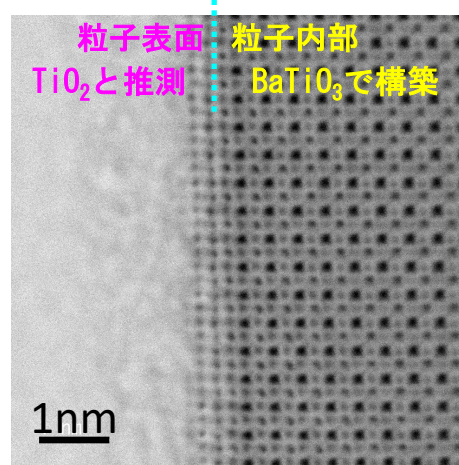


積層セラミックコンデンサとして利用可能な基盤粒子設計

強誘電体として知られるチタン酸バリウム (BaTiO_3) は、携帯電話やパソコンなどの電子機器（電子デバイス）に積層セラミックコンデンサ（MLCC）として使用されており、我々の生活に欠くことができない物質です。 BaTiO_3 の基盤粒子設計に取り組み、高誘電率かつ電力消費の低減へとつながる誘電体材料の創出に取り組んでいます。



BaTiO_3 ナノキューブの粒子表面の原子配列の観察

※ 原子の大きさ：約0.1nm（約100pm）

キーワード

ナノクリスタル、誘電体材料、電子顕微鏡

分

野

無機化学、セラミックス、機器分析